

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		12-	12	
事業名	商工業振興事業費		会計	款	項	目
			一般	7	1	1
施策	5 賑わうまち		課名	産業課		
	5-1 働きがいのあるまちをつくる		係名	地籍調査係		
	5-1-3 商業・サービス業の振興					
主要施策	①近代的、魅力的な商業活動の促進		③指導支援体制の強化			

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町内小規模事業者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	商工会への助成を行うことで、魅力ある商工業の振興を図ります。
事業内容	商工業振興事業 経営改善や地域振興のための組織強化を行い、魅力ある商工業の振興を図るとともに、地域産業を主体とした、経営改善の指導ができるよう商工会への補助事業を通じて、小規模事業者への支援を行います。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)	
指標	1	商工会会員数(法人・個人)		489	494	人	↑	470	
	2	商工会加盟商店数		230	229	店	→	220	
	3								
	4								
	5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)		
全体事業費(千円) A+B					14,002		16,631	16,934	
財源内訳	直接事業費 A				14,002		13,991	14,294	
	うち一般財源				14,002		13,991	14,294	
人件費(千円) B					0		2,640	2,640	
内訳	一般職員(人・千円)				0	0.4	2,640	0.4	2,640
	臨時職員(人・千円)				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	C 民間企業やNPOで担うべき	効率性	対象者の適切性	B 対象が狭すぎる
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	補助金額の適正な額の算定が困難
②H30年度に実施した取り組み	小規模事業者等の経営指導に係る費用の補助、中小企業の生産性向上のための先端設備導入に伴う指導事務	④今後の改善計画	商工会補助金にあっては基準等が示されていないことから、県内の状況を分析し、商工会との協議を重ねる